令和5年度 第1回 学校運営協議会 議事録

日 時 令和5年7月4日(火)

場 所 下落合小学校 会議室

出席者 11名(增渕委員、舘岡委員、石井委員欠席)

司 会 安藤教頭

14:45~

1開会

- ・配布物確認:学校要覧・座席表・綴じてある資料・熟議資料・コミュニティ・スクール資料
- 2校長あいさつ
- 3 委嘱状・任命書の交付(机上渡し)
- 4 自己紹介

14:50~

5委員長・副委員長の選出 (P2~P6の規則に基づき)

- ◇委員長選出
- ・小山委員を委員長に推薦
- ・これを受けて、各委員からも適任であり是非引き受けて頂きたいとの意見
- ◆満場一致で委員長を小山委員にお願いし快諾
- ◇副委員長選出
- ・増渕委員を副委員長に推薦
- ◆満場一致で副委員長を増渕委員にお願いした。

15:00~

6 協議 司会:小山委員長

| 6 協議 司会:小山委員長 | | | |
|---|--------|--------------------------------|-------|
| (1)学校運営に関する基 | 校長 | 学校要覧から今年度の児童数、教室配置等の説明 | 15:00 |
| 本的な方針について | | 学校自己評価システムシートから | |
| | | 資料 P 5 の説明 | |
| | | ・学力向上:問題解決に向け、自分で思考・表現することに課 | |
| | | 題が見られる。個別最適な学びの推進に向けた ICT の活用に | |
| | | 努める。 | |
| | | ・安心安全:児童一人ひとりの状況を把握し、ケース会議を実 | |
| | | 施し、組織的に支援していく体制を充実していく。 | |
| | | ・地域とともにある学校づくり:開校70周年実行委員会と連 | |
| | | 携し、記念行事を実施する。学校・地域・保護者と連携した取 | |
| | | 組を実施していく。 | |
| | | ・教職員の資質向上:教員の ICT 活用スキル向上と活用で、 | |
| | | 事務の効率化を図り、業務改善を推進していく。 | |
| ・年間行事予定の説明 | 教頭 | 資料 P 6 「令和 5 年度 年間行事予定表」から | 15:10 |
| | 3,,,,, | 校外学習や開校70周年行事 等の説明を行った。 | |
| ・ 1 学期の学校の様子 | 教頭 | 4月~6月学校での児童の様子をスライドで説明 | 15:15 |
| ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, | | コロナ禍でできなかったことがもどりつつある。 | |

(2)「『子どもたちが達成感を味わったり、他者から褒められたり、認められたりする。』」ために、学校・家庭・地域でできることは何か」

教頭 | 熟議の進め方について、教頭より説明

- ・事前にお願いした資料をもとに、個人で考える。(3分間)
- ・ABC の3班に分かれて、各委員の考えたことを話し合い、 グループ内で共有し、学校と地域が一緒に取り組むことがで きることは何かについて話し合い、結果を発表する。(10分 間)

【発表】

A:小山・渡邊・水野委員・校長

・家庭の中で役割を与えることが大切である。

B:内田・岡田・奥田・教頭

- ・忙しすぎる子どもに、時間を与えるために何もしないことも 必要。
- ・家庭や学校で、常に失敗してもいいと声をかける。達成することの喜びに導く。
- ・家庭で、学校の様子を話したり聞いたりできることにより、 子どもを褒めたり認めたりすることができ達成感につなが る。
- ・地域で下校の様子を見守り、あいさつを交わし、子どもに存 在を感じさせる。

C:池田・髙橋委員・学校地域連携コーディネーター山﨑 ・地域でのスポーツ活動で、勝つことの喜びや多くの人からの

- ・地域でのスポーク活動で、勝つことの喜いや多くの人がらい 応援や交流によって達成感や感謝の気持ちが築かれる。
- ・学校での作品等の発表の感想メッセージをカードにして、子 どもに渡すことによって、他者に認められ、褒められる喜びを 感じられる。
- ・家庭で、責任あるお手伝いを与えることにより、家庭での存 在感・達成感を感じることができる。

・2学期に具体的な取組を実践する。

(3) その他

16:45~

7諸連絡 第2回学校運営協議会は、12月7日(木)を予定しています。

8 閉 会

15:20

15:25

15:35